

ポルシェカレラカップジャパン2017 ザ・ワンメイクレース祭り 参戦報告書

Date 2017年6月3日～2017年6月4日

Round 第5戦・第6戦

Race Track 富士スピードウェイ

初めに、今大会も懸命なサポートをして頂いたポルシェジャパン株式会社様、コックス株式会社様、チームの皆様、パーソナルスポンサーの皆様、応援して頂いた方々に心より感謝致します。

●2017年6月3日 公式予選／第5戦決勝レース（2番グリッドスタート／2位フィニッシュ）

ポルシェカレラカップジャパン2017シリーズ第5戦・第6戦は富士スピードウェイで開催されました。また、ポルシェカレラカップアジアも共催され、PCCJとPCCAの混走レースであるエキシビジョンレースも開催されました。

ここまでのレースでの最高位は2位。自分は何んとしてでも優勝して、自分を支えて頂いている方々に恩返ししたいという強い思いと、エキシビジョンレースではスカラシップドライバーとしてPCCAの強豪ドライバーに勝てるように、高い緊張感を持って今大会に挑みました。



8時30分から30分間の公式予選がスタートしました。各ドライバーのベストタイム順で第5戦のスターティンググリッドが決定され、第6戦のスターティンググリッドは公式予選のセカンドタイム順で形成されます。

第5戦・第6戦ともに公式予選結果は2番手となりました。

前日に行われた専有走行よりもドライビング面、マシン面共に向上する事はできましたが、ポールポジションを獲得する事はできませんでした。

公式予選終了後、チームと入念にミーティングを行い決勝レースに備えました。

14時05分から15週の決勝レースが行われました。2番手グリッドからのスタートでも十分に優勝を狙える位置からスタートを切る事ができるので落ち着いてレースに臨みました。

スタート直後の1コーナーではポジションをキープしたままクリアしました。続くコココーラーからアプローチを考えヘアピンコーナーでオーバーテイクする事に成功。ポジションを上げトップに立ちました。4周回、トップを走行しましたが1コーナーでオーバーテイクされてしまい、結果的に2番手でチェッカーを受けました。

ファステストラップは獲得できたものの、レースの組み立て方やバトルの仕方を見直す必要があります。



● 2017年6月5日 第6戦決勝レース（2番手スタート／1位フィニッシュ）

この日も2番手グリッドからのスタートとなりました。昨日のレースでもラップタイムには自信があったのでレース序盤でトップに立ち、逃げ切る作戦でレースに臨みました。

10時10分からレーススタート。

シグナルブラックアウトからの反応は良く、スタートでトップに立つ事ができました。

そこからは自分自身のドライビングに集中して、周回を重ねました。

無事に15周走り切り、今季初優勝を飾る事ができました。ようやく勝てた事と、自分をここまで導いて頂いた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。



● 2017年6月5日 エキシビジョンレース（4番手スタート／6位フィニッシュ）

この日最後の、エキシビジョンレースが16時30分からスタートしました。

周回数は10周で争われ、スタート方式はローリングスタートでのスタートとなりました。

初めてのローリングスタートと41台という台数の多さに、いつも以上に緊張しました。

シグナルがグリーンに変わりレーススタート。

無事にスタートを切る事はできましたが、オープニングラップの100Rからヘアピンコーナーにかけて2台オーバーテイクされてポジションを6番手に落としてしまいましたが、2周目の1コーナーで前車をオーバーテイクする事ができ5番手に浮上。

数周回後、同じく1コーナーでオーバーテイクし4番手にポジションを戻す事ができました。

前を行く3番手のマシンに必死についていきましたが、前半のバトルでタイヤを大きく摩耗させてしまい、思うようにペースを上げる事が出来ず、結果6位でフィニッシュしました。

PCCAのドライバーと一緒に走行できた事により沢山の事を学ぶ事ができ、とても良い経験になりました。



今回はレースだけではなく、様々なイベントがありました。

ポルシェパレードランでは、今回初めて先導車を担当させて頂きました。

パレードランにご参加頂いた皆様と共にポルシェの魅力やサーキットの魅力を共感しました。

今大会は自分にとって有意義なレースウィークとなりました。

次戦でも優勝できるように、日々努力していきます。



応援有難うございました。#17 上村優太